

厚木市議選 7/12 投開票 市民の議席を確保

投票率42.86%

当 山本とも子(元) 1455票(28位)
内川ゆき子(現) 1345票(31位)



厚木ネットは、2議席の擁立にこだわり厳しい選挙を戦いました。結果は、元職の山本とも子が1455票で当選し、現職の内川ゆき子は1345票で惜しくも議席には届きませんでした。しかし、今回は2人合わせて2800票、前回の選挙より約800票伸ばすことが出来ました。

厚木は保守が強く、パフォーマンスでは票が集まりません。今回は、新人7人が当選したことで議員の新旧交代が進んだ観があります。2議席獲得はなりませんでしたが、次期に向け活動を開始します。

山本裕子(厚木市民自治をめざす会)



神奈川ネット第39回臨時総会 「未来につなぐ働き・暮らし」

7月12日ワークピア横浜

各界のご来賓の方にご参加いただき、第39回臨時総会を開催しました。挨拶の中で、多くの方から平和の問題や安全保障関連法案について危惧するメッセージが寄せられました。
議事審議では、政策形成のあり方や予算に関して質問等が出され、意見交換が行われました。その後、2015年度の基本テーマである「未来につなぐ働き・暮らし」実現のための総会アピールを採択して、新たな活動をスタートしました。

国際問題評論家の北沢洋子さんが亡くなりました。北沢さんは、反アパルトヘイト運動やジュビリー 2000キャンペーンなどグローバルな市民社会の運動とともに、コミュニティ事業や市民金融といった地域で展開される草の根の経済活動を始めた連帯経済運動の重要性も提起されてこられました。

北沢さんには、2001年より神奈川ネット市民社会チャレンジ基金の審査員を担っていただき、また、2007年からは神奈川ネットの監査委員として、多くの示唆をいただけてきました。12日の告別式のお別れの言葉に「だっておかしいでしょう。やるしかないでしょう。」という生前の北沢さんの言葉が紹介されていました。私たちにも「市民社会を強くする」活動へのエールをいただき、背中を押していただきました。共生と連帯の時代への視座を持ち「未来につなぐ働き・暮らし」の実現に努力します。



▲三宅なが子代表



▲若林ともこ代表



安全保障関連法案の撤回を 求める意見書を提出

だより 県議会

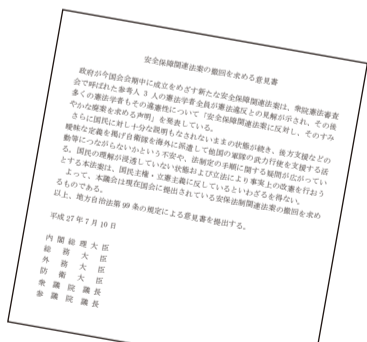
佐々木ゆみこ(ネット宮前/県議)

安全保障関連法案について国会での議論を巡り、委員会参考人の多くの中から違憲や時期尚早との発言が相次いでいます。市民の間にも、法制定の手順そのものへの疑問とともに、自衛隊を海外に派遣し他国の軍隊の武力行使を支援する活動等につながる不安が広がっています。政権への抗議の声は日ごとに高まり、国会前をはじめ全国各地で大きなうねりとなっています。

地方議会からも反対や慎重審議を求める意見書が国宛に提出される動きが加速しています。まだまだ市民を巻き込んだ議論が足りていないことは明らかです。地方議会の中でも議論を重ねるために、今法案の撤回を求め、国民の理解が浸透していない状態および立法により事実上の改

憲を行おうとする安全保障関連法案は、国民主権・立憲主義に反しているといわざるを得ないことを指摘し、神奈川ネットとして「安全保障関連法案の撤回を求める」意見書の提出を行いました。

私たちの住む神奈川県は、沖縄に次ぐ基地県です。そして、16万人以上の外国籍の人が暮らすまちでもあります。今後も、地域から市民の安全保障を進め、人権を守り平和構築に向けた市民社会の実践を重ねていきます。



神奈川ネットでは、森田明弁護士を講師にマイナンバー制度の概要や問題点を伺い、意見交換しました。
マイナンバー制度については、導入による課税の公平性や事務の効率化などのメリットが言われる反面、情報流出による被害、なりすましや制度導入に伴うシステム改修に要する多額の費用など、様々な問題点も指摘されています。
マイナンバーは一生を通じて社会保障・税・災害対策などの分野において、1枚のカードで本人確認と身

元確認が可能となります。行政や事業主など使う側には、洩れなく管理できる良いシステムかもしれないが、管理される側からは、収入・勤務先・年金等、デリケートな情報が個人レベルで一管理されることへの不安が拭えません。
国はシステムの安全性を強調していますが、導入前から利用範囲を銀行預金や医療情報にまで拡大する動きがあることは疑問です。
質疑応答では、世帯内のなりすましへの危惧やトラブルによる混乱、高齢者の

◆学習会
マイナンバー制度
市民生活はどう変わるか
岩本香苗(ネットさがみはら)

6/22

編集後記

▼JR東海が計画しているリニア新幹線は無人走行でその殆どがトンネルとなる▼先日、東海道新幹線の車内での焼身自殺による火災の発生があり、乗車時のセキュリティ対策などが課題になった▼JRは飛行機並みの対策は出来ないという。リニアに飛行機並みのセキュリティ対策を行えば、それだけで時間を要し、そんなリニアに誰が乗るのか。

(A・W)

神奈川ネットは、地域政党です。
生活の課題は政治に直結しています。
国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく、多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。

今月の神奈川ネット

- 第6回運営委員会：7/22(水)
- 学習会「地域資源として空き家の活用を考える」：7/22(水)
- 政務活動費の市民公開：7/27(月)

第24期市民社会チャレンジ基金募集スタート

2015年度の市民社会チャレンジ基金の応募受付が7月15日からスタートします。2001年から、これまで市民社会づくりにチャレンジするローカルパーティやNPOなど148団体(総額約7030万円)に助成し、活動を応援してきました。今年度は、「若者の就労支援」や「東日本大震災からの復興支援」「子ども・子育て支援」「省エネ・節電、再生可能エネルギー」などを活動テーマとします。神奈川ネットの基本政策「未来につなぐ働き・暮らし」をもとに、市民がつくるセーフティネットに取組む団体を応援していきます。

締切り：9月15日(火) 当日消印有効
問い合わせ：「市民社会チャレンジ基金」事務局
TEL:045-651-2011